

2区・藤田氏が初当選



万歳をして当選を喜ぶ後藤さん
(8日午後8時5分)

ごとう しげゆき
後藤 茂之 70 自民前⑨
(無派閥)

党政務調査会長代理(元)厚生労働相、経済再生担当相。東京教育大学付駒場高-東京大卒。諏訪市湖岸通り2

4区開票速報 (開票率98.96%)

当 後藤 茂之(自民前) **76,925**
 花岡 明久 (国民新) 33,944
 武田 良介 (共産新) 22,714

◇当日有権者数	男 114,368	女 118,414	計 232,782
◇投票者数	男 69,530	女 69,040	計 138,570
◇投票率(%)	男 60.79	女 58.30	計 59.53



笑顔で感謝の気持ちを述べる
藤田さん（8日午後8時13分）

ふじた
藤田ひかる 35 自民新①

党県第2選挙区支部長(元)外務省職員、会社員。
一橋大卒、米ハーバード大ケネディ行政大学
院修了。松本市

2区開票速報 (開票率96.36%)

当 藤田ひかる (自民新)	101,539
下条 みつ (中道前)	74,026
手塚 大輔 (維新新)	23,614
竹下 博善 (参政新)	17,541

◇当日有権者数	男 181,236	女 191,419	計 372,655
◇投票者数	男 112,807	女 113,766	計 226,573
◇投票率(%)	男 62.24	女 59.43	計 60.80

多様な戦術 支持急拡大

長野2区は、自民党新人の藤田ひかる氏(35) 松本市 が高市政権の高支持率を追い風に急速に支持を広げ、小選挙区で4回連続の当選を目指した中道改革連合前職の下条みつ氏(70) 松本市 深志2 を追い抜いた。

昨年末に党2区支部長に就いたばかりの藤田氏は、組織が整わないまま選挙戦に突入した。妊娠を公表し、街頭活動に制約が出る中で、市町村ごとの「語る会」の開催、SNS(交流サイト)での政策動画発信など、多様な戦術を展開した。序盤から大臣クラスの応援を受け、中盤には高市早苗首相も訪れるなど、党本部が強力にてこ入れを図り、無党派層や若年層の支持を大きく引き寄せた。

選挙直前に結成された中道から出馬した下条氏は、前職の知名度を生かして選挙区内を開。連合長野や公明など、組織票や政権の不支持層を取り込み、序盤は優勢とみられたが、「高市自民」の人氣にあらがえず、若年層への広がりを欠いた。

日本維新の会新人の手塚大輔氏(43) 松本市宮渕3、参政党新人の竹下博善氏(43) 長野市中条 は、高市政権を支持する保守票が藤田氏に取り込まれ、伸び悩んだ。

安定感三つどもえ制す
4区

4区は自民党前職の後藤茂之氏(70)―諏訪市―が、国民民主党新入の花岡明久氏(46)―埼玉県朝霞市、共産党新人の武田良介氏(46)―長野市―との三つどもえの争いに圧勝し、9選を決めた。

すく対応する必要がある」と早期解散に踏み切った高市首相の真意を説明し、経済政策を軸に訴えた。高い内閣支持率を背景に無党派層に浸透。野党支持層の一部も取り込み、新人2氏に水をあげた。

花岡氏は手取り増を強く訴え浸透を図ったが、選挙戦までの準備期間が短く時間の壁に泣いた。一騎打ちの構図が続いた4区で新たな選抜肢としての好感を得ながら、得票ものでは至らなかった。

武田氏はこまめな街頭演説で自民党批判を展開したもの、前回選に続く挑戦も及ばなかった。三つどもえの戦いで厳しい戦いを強いられ、高市人気のおおもりも受けて無党派層への広がりも欠いた。

中道・中川氏
比例で3選
14面

衆院選

4区は後藤氏が9選

自民圧勝 高市旋風に乗る

第51回衆議院議員選挙（定数465）は8日に投票された。自民党が単独で過半数を大きく上回った一方、中道改革連合が議席を大幅に減らした。長野2区（松本市、安曇野市、東筑摩郡など）は自民党新人の藤田ひかる氏（35）―松本市―が初当選し、4区は自民党前職

の後藤茂之氏（70）―諏訪市―が9選を果たすなど、自民党は県内全5小選挙区で勝利した。比例代表との重複を除くと、県内小選挙区で女性候補が当選するのは初となる。比例北陸信越で中道改革連合前職の中川宏昌氏（55）―松本市野溝西1―が3選を果たした。

1月23日の衆院解散から16日後の投開票は戦後最短という超短期決戦で、消費税のあり方を含む物価高対策や外交・安全保障政策などを主な争点に12日間の舌戦が繰り広げられた。初の女性首相となった高市早苗政権は信任を得た形となる。

自民党は高市首相（党総裁）の高い支持率を背景に終始優位に戦った。日本維新の会と合わせた与党の議席数は、高市首相が勝敗ラインとした過半数を大きく上回った。参議院で否決された法案の再可決や憲法改正の国民投票の発議などに必要3分の2（310票）を上回る勢いで票を伸ばした。

立憲民主党と公明党により公示直前に結成された中道改革連合は新党の風を吹かせることはできなかった。